

鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (平成30年度／大手民鉄16社)

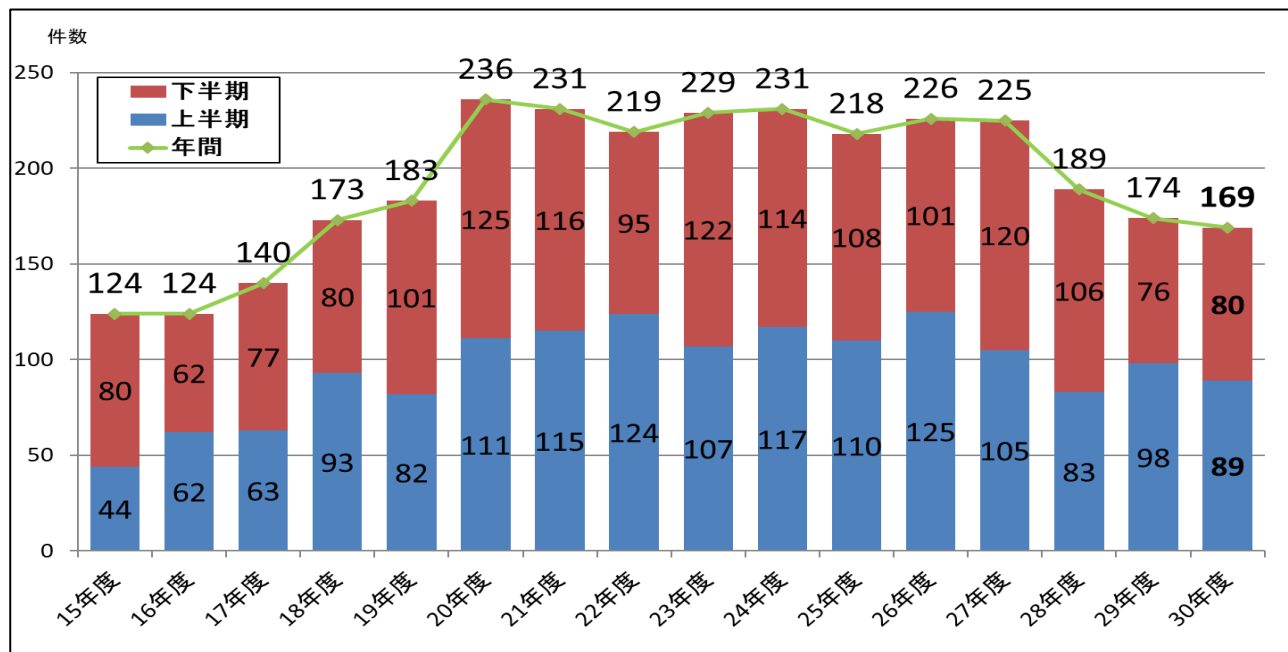
日本民営鉄道協会では、大手民鉄16社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における平成30年度に発生した駅員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数について集計を行ったところ、暴力行為の発生件数は、前年度に比べて5件減少し、169件（上期89件、下期80件）でした。

ここ数年暴力行為が減少しているのは、全国の鉄道事業者による啓発ポスターの掲出、警察官の巡回や警備員の配置、駅係員の研修等の取り組みが浸透するとともに、報道機関等を通じて鉄道係員に対する暴力行為が発生している現状についてお客さまに認知されたことが寄与したものと考えられますが、依然として暴力行為は多く発生しているのが現状です。

暴力行為が発生する状況としては、鉄道係員が酩酊されたお客さまに近づいた時や理由なく突然に行われるケースが多く、時間帯については深夜帯（22時以降）に集中して発生しています。また、加害者年齢は幅広い年代に分布しております。

犯罪である暴力行為をなくし、安全で快適な鉄道を維持するため、当協会では引き続き啓発ポスターの掲出など各種の取り組みを実施してまいります。

年度別発生件数



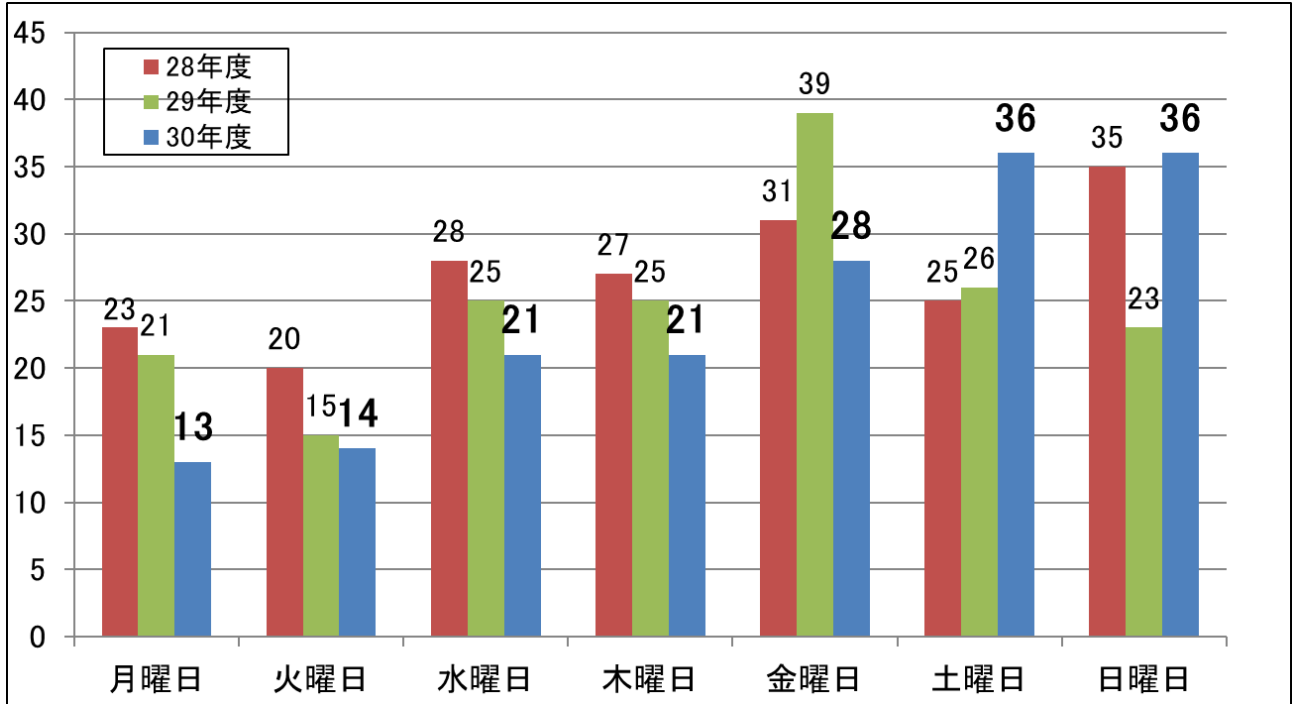
(ご参考) 以下の項目の集計結果を別紙にて紹介しています

1. 曜日別 発生件数
2. 時間帯別 発生件数
3. 主な場所別 発生件数
4. 主な契機別 発生件数
5. 加害者年齢
6. 加害者の飲酒状況
7. 具体的事例

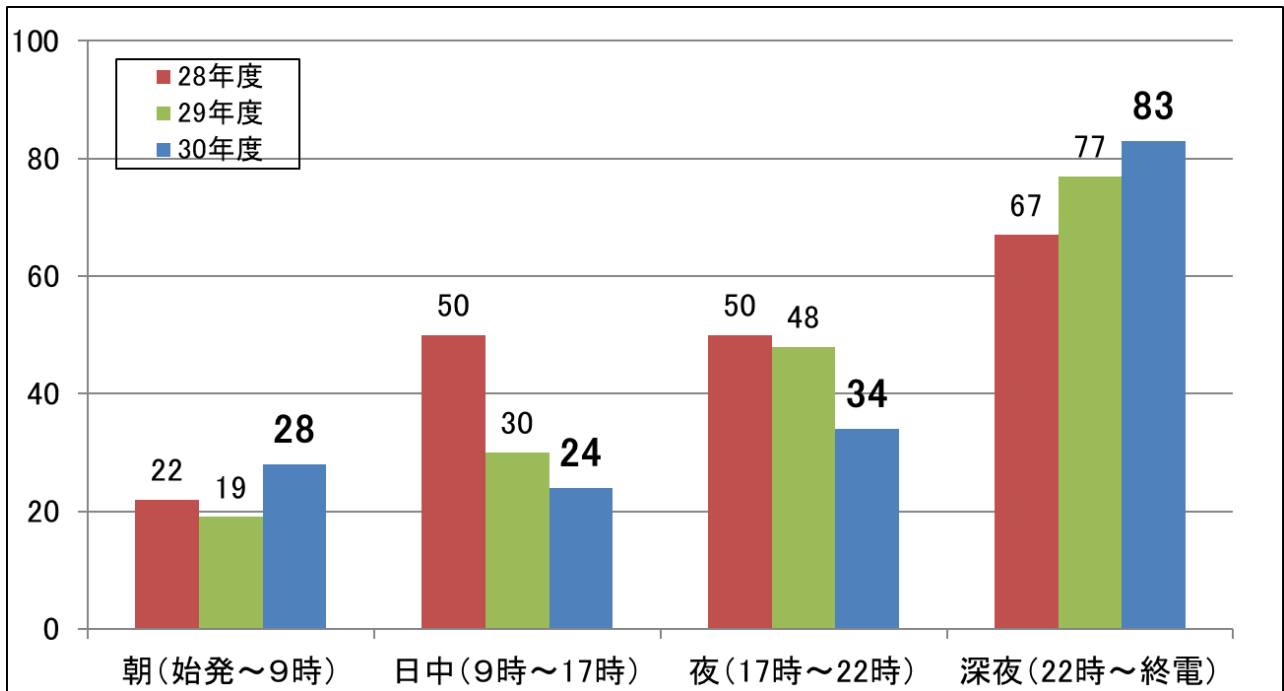
※なお、別紙に記載しておりますこと以外の詳細な内容や件数は、公表しておりません。

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況別件数・具体的事例等(詳細)

1. 曜日別 発生件数

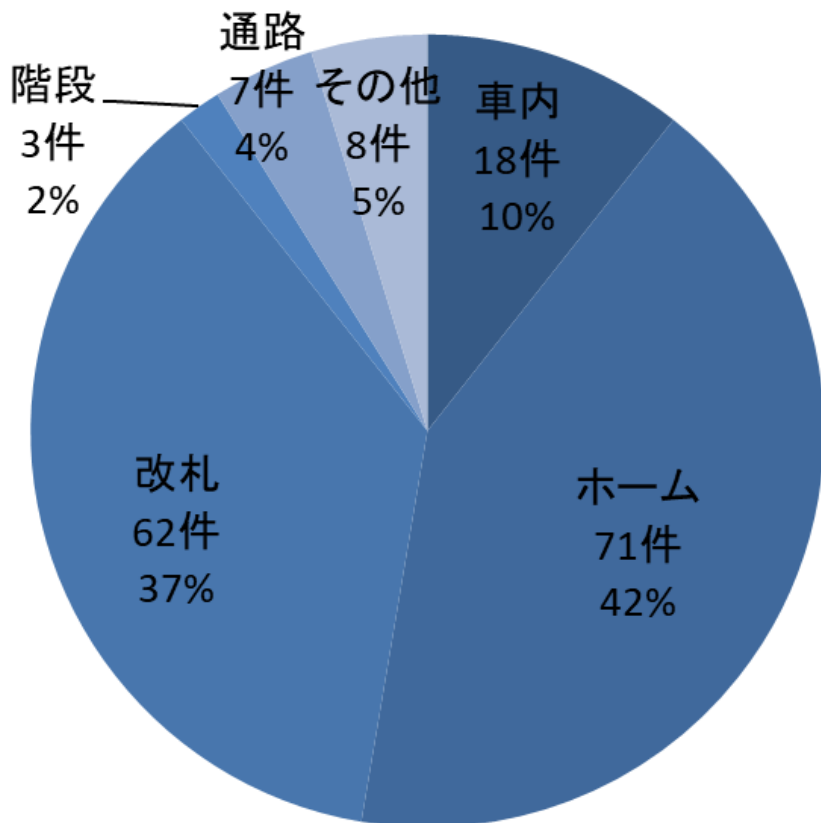


2. 時間帯別 発生件数

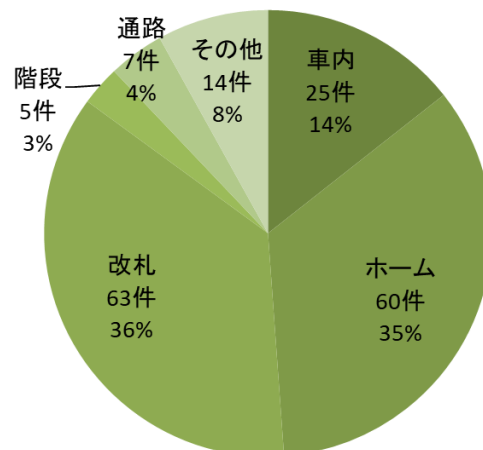


3. 主な場所別 発生件数

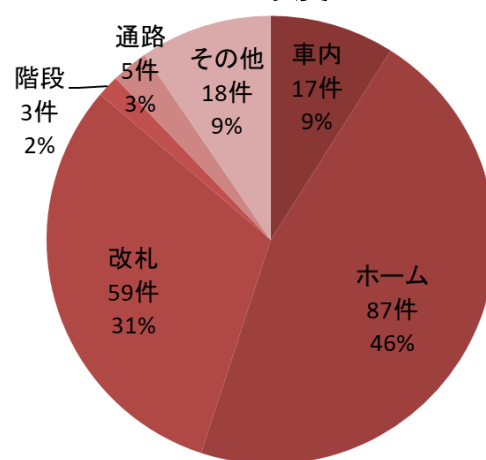
30年度



29年度

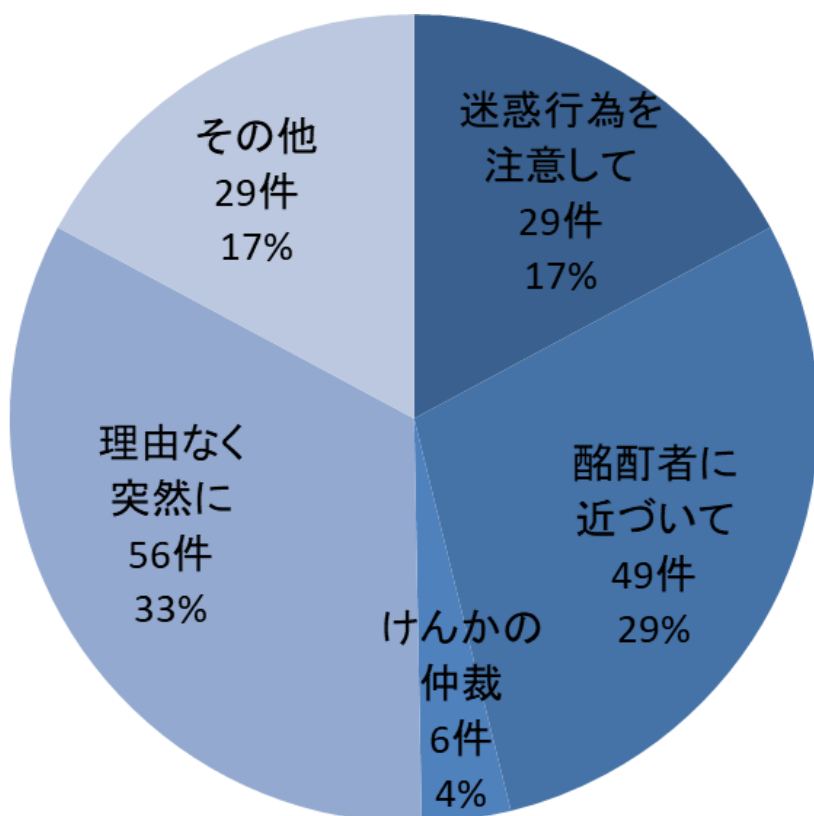


28年度

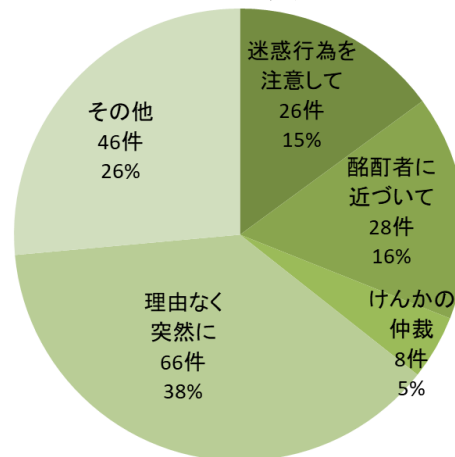


4. 主な契機別 発生件数

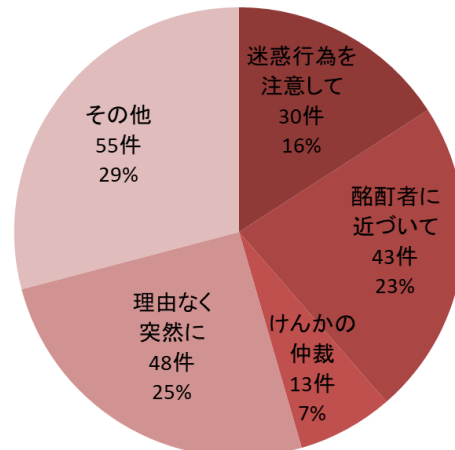
30年度



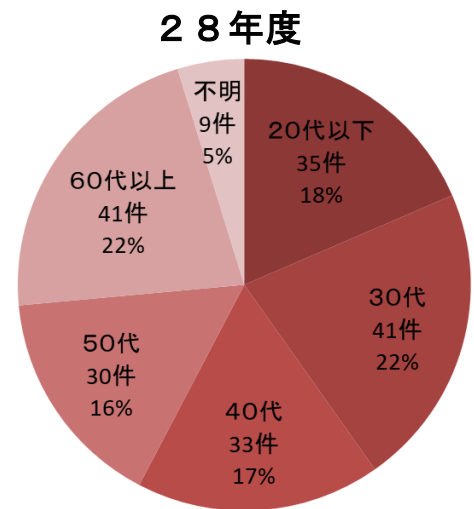
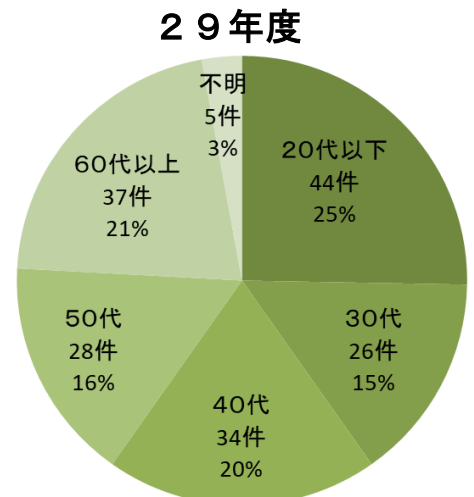
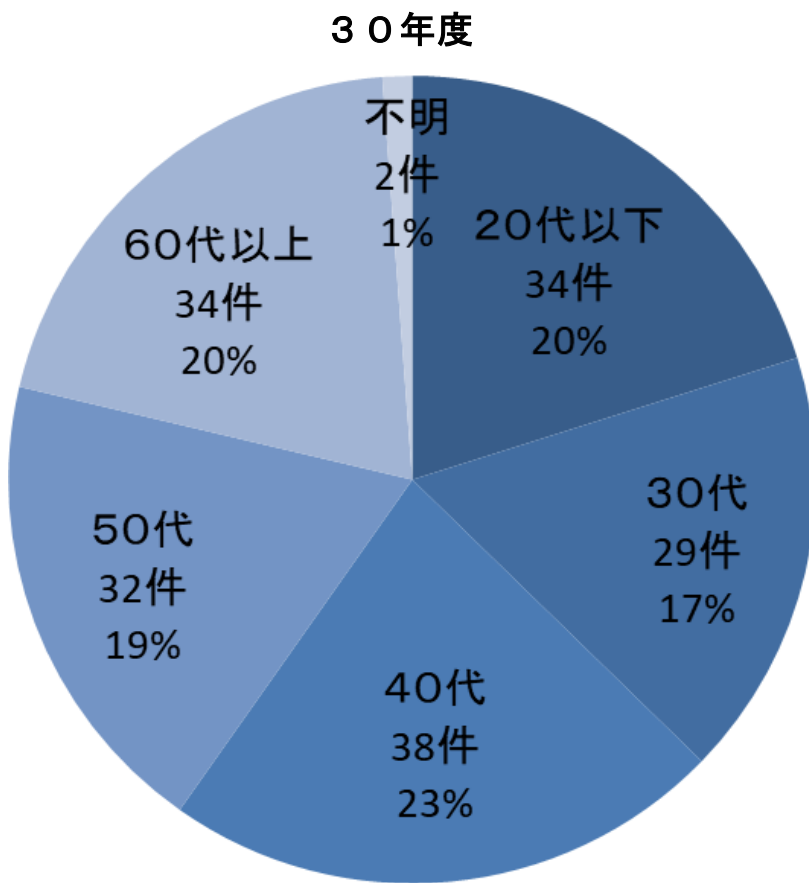
29年度



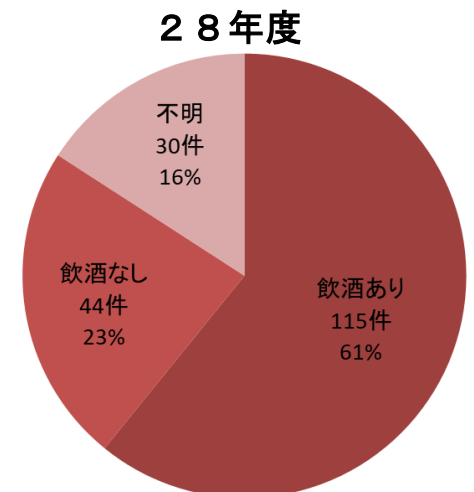
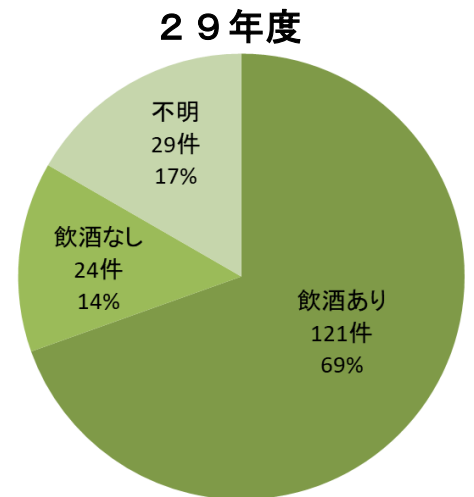
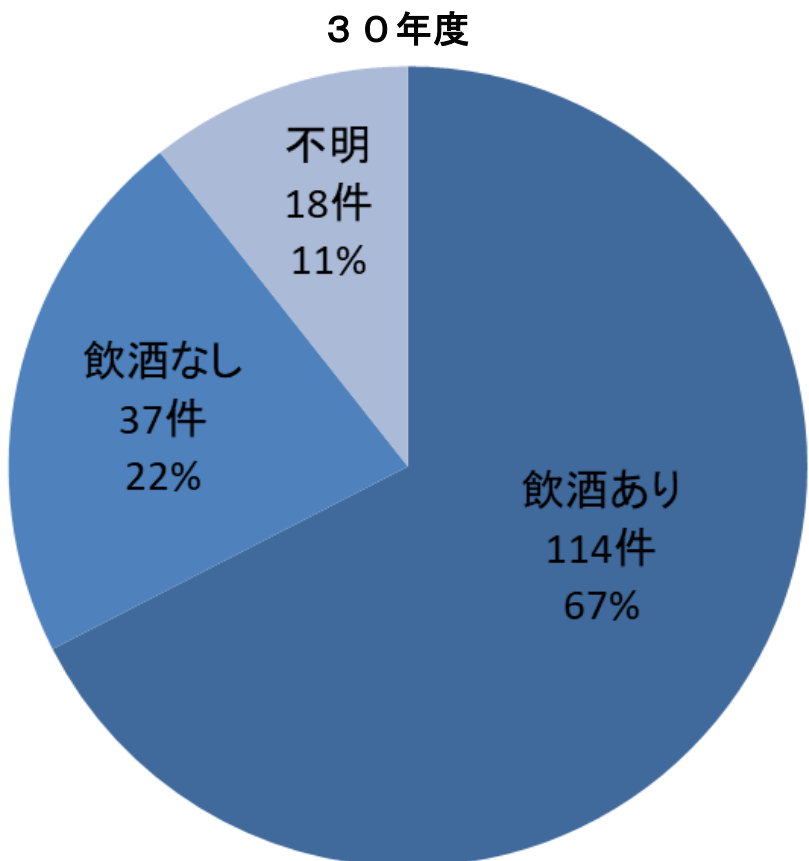
28年度



5. 加害者年齢



6. 加害者の飲酒状況



7. 具体的事例

【事例1】

曜日	土曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	改札
契機	迷惑行為を注意して	年齢	20代	飲酒	あり

駅係員は、精算しないで改札を出ようとした加害者に対して、精算をお願いしたところ、右腕を掴まれ、左胸を強く突き飛ばされて転倒した。

【事例2】

曜日	土曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	車内・ホーム
契機	酩酊者に近づいて	年齢	50代	飲酒	あり

ホーム監視中の駅係員は、お客さまから「車内で寝ている人がいるので起こしてほしい」との申告を受けた。車内に赴くと、泥酔状態の加害者がうつ伏せで寝ていたため、起こそうと声をかけたところ、突然左頬を平手打ちされた。駅係員は、加害者を制止しながら降車させ、脱いでいた靴を履くように促すと、再度左頬を平手打ちされた。

【事例3】

曜日	月曜日	時間帯	夜（17時～22時）	場所	ホーム
契機	迷惑行為を注意して	年齢	40代	飲酒	あり

改札で執務中の駅係員は、お客さまから「ホームで言いがかりを付けている人がいる」との申告を受けた。ホームに赴いて加害者を止めようとしたところ、左わき腹を殴られた。後にホームに到着した他の駅係員が、二人を引き離そうとしたところ、胸を蹴られ、右頬を殴られた。

【事例4】

曜日	月曜日	時間帯	朝（始発～9時）	場所	改札
契機	理由なく突然に	年齢	70代	飲酒	不明

駅係員は、加害者に電車を案内していたところ、突然左頬を殴打されたため事務所に通報すると、今度はビニール製のカバンを振り回して左後頭部にぶつけられるなどの暴力行為を受けた。